

Studio D Chorus

すべてのトラックに美しいモジュレーションやムーブメントを

Brian Eno、Stevie Ray Vaughanをはじめとする誰もが“秘密のソース”として使用するシンプルで理想的な機能セットを持つ、伝説的なラック Roland Dimension D* chorus は 1979 年に発売され、空間を与え、スイートで繊細なモジュレーションを注入することで知られています。

Studio D Chorus は、UAD-2 ハードウェアと Apollo でだけ使用できる、ラックユニットの詳細なエミュレーションです。そして、巧みにバケツリレー回路、サウンドや質感などの複雑な範囲の鍵をキャプチャーしています。

新機能:

- 楽器やバス・トラックに絶妙な空間エフェクトを与える
- 簡単にバック・ボーカルやストリングスなどにオープンなサウンドを提供
- より深みのあるサウンドのための“オールボタン”モード
- シグナルに影響を与えることなくトラックをエンハンスし、ポップさを与える

バケツリレー式コーラス

多くのアナログ・バケツリレー式コーラス回路が 512、またはそれ以上のディレイ・ステージで動作するのに対し、Studio D Chorus プラグインは、オリジナル・ハードウェアと同様の 1024 のディレイ・ステージを持ちます。この設計は、コーラスではないような雰囲気ですテレオ・イメージを広げ、深く、複雑なモジュレーションを提供します。

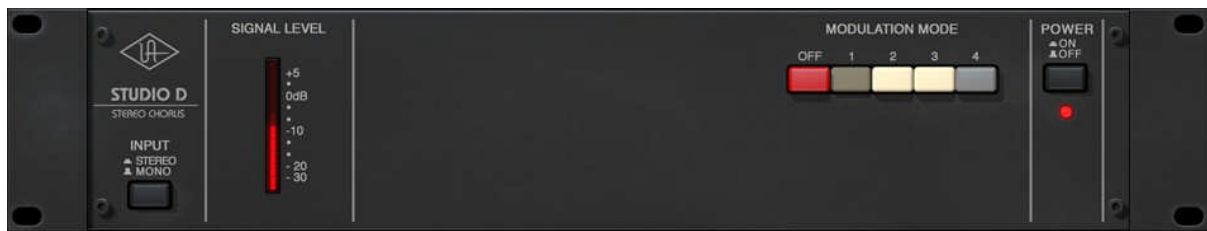
4 ボタンだけの真実

Studio D Chorus のコントロールは、4 種類のプッシュ・ボタンだけというオリジナルの象徴的でエレガントなコントロールをそのまま再現しています。各ボタンには、エフェクトの強さを 4 つのレベルで提供します。一度にすべてのボタンを押すと、より深いモジュレーションを得られるようになります。プッシュ・ボタンは、ハードウェアと同様に微妙な変化などのサウンドパレットのために好みの組み合わせで使用することができます。

繊細さの中の力強さ

Studio D Chorus プラグインは、象徴的なハードウェアのように劇的に新しいサウンドを作りません。シンプルなギター/ボーカル・アレンジに、よりワイドで幅広い深さを、ストリングスやボーカルには、コンプレッション、EQ、リバーブを使用しなくてもより深いサウンドに仕上げます。ギターやシンセパッドに浮遊感を持たせるために Studio D Chorus プラグインは、最適なツールと言えます。

*注: Studio D Chorus プラグインは、Roland、BOSS との提携、エンドースなどは受けていません。Roland と BOSS の名称だけでなく、CE-1 と Chorus Ensemble モデルの名称は Universal Audio の製品でエミュレーションを行なうクラシック・エフェクトを識別する目的にのみ使用されます。



Studio D Chorus インターフェイス

Studio D Chorus のコントロール

Studio D Chorus は、パワー、モノ、モードからなる 3 種類のパラメーターのみによって操作可能な非常にシンプルなデバイスです。各コントロールについては、以下に詳述されます。

ディメンション・モード

ディメンション・モードは、エフェクトの強度を設定します。4 つのモードがあり、モード 1 は、もっとも薄いエフェクトを提供し、モード 4 は高い強度のエフェクトを提供します。

マルチ・ボタン

オリジナルのハードウェアを忠実に再現するために、エフェクト・サウンドのバリエーションを提供するためにディメンション・モードの複数のボタンを同時に押すことができます。複数のディメンションモード・ボタンを押すには、コンピューター・キーボードのシフト・ボタンを押しながらモード・ボタンをクリックしてください。

インプット

オリジナルのハードウェアはモノイン/ステレオアウトで動作させるためのスイッチが背面にありますが、プラグインにモデリングしたとき、便宜上前面に配置しました。

インプットがモノに設定されている場合、ステレオ・インプットの設定で使用しても Dimension D へのインプットはモノラル(ステレオ・インプットをモノに合算)です。ステレオイン/モノアウトで使用する場合、AUX エフェクト・センド/リターンで使用する場合に便利です。

デフォルトではステレオ(暗いポジション)です。モノ・モードにするにはスイッチをクリックしてください。

パワー

プロセッシング前/後のシグナルを比較するためのプラグイン全体のバイパス・コントロールです。スイッチが押し込まれた位置では、プロセッシングされており、飛び出た状態では、バイパスされた信号が聴こえます。パワーの状態を変更する場合、このボタンをクリックしてください。

ヒント: UAD-2 DSP 使用率は、UAD Meter & Control Panel アプリケーションのプリファレンス・パネル内でオフになっている場合にのみ軽減されます。

パワー LED

プラグインがオンになっている時にこの LED が点灯します。

アウトプット・メーター

LED 形式のメーターは、プラグインのプロセッシングがオンになっている場合、アウトプットでのシグナル・レベルを表示します。

注: Studio D Chorus プラグインは、Roland、BOSS との提携、エンドースなどは受けていません。Roland と BOSS の名称だけでなく、CE-1 と Chorus Ensemble モデルの名称は Universal Audio の製品でエミュレーションを行なうクラシック・エフェクトを識別する目的にのみ使用されます。